

緊急時下校システム

船橋市立小栗原小学校

令和2年4月作成

1 目的

緊急時（事件及び災害発生時）の下校システムを確立し、児童を円滑・安全に家庭に帰す態勢を整える。

2 下校判断基準 及び 実施手順

(1) 一斉下校

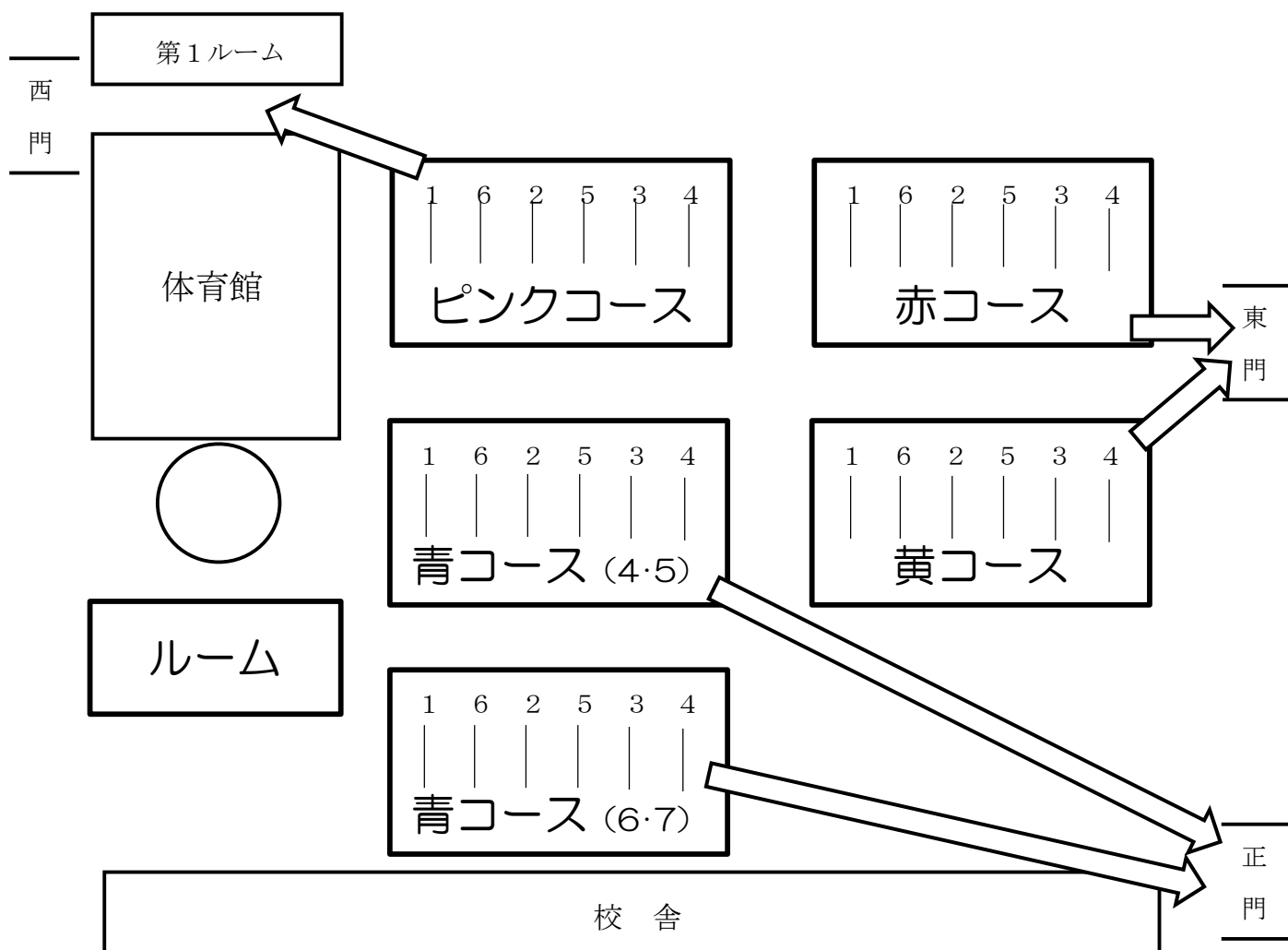
想定場面	(事件発生時) ・学区から離れた場所で凶悪性の低い事件が発生しており児童に危害が及ぶ可能性は極めて低いものの、下校の十分な安全確保の面から対応の必要性がある場合。 (災害発生時) ・今後、台風や大雨、大雪等が強まると予想され速やかに児童を下校させることが必要な場合。
実施手順	実施時 ① 一斉下校を実施する旨を、学校メールで保護者に連絡（教頭） ※未登録家庭には、担任が電話連絡を行う。 ② 放課後ルーム、船っ子教室へ連絡（教務） ③ フリー部の教職員は、児童下校より先に通学路に出て安全確認 ※教職員は携帯電話を持参し、連絡が取れるようにしておく ④ 全校放送による指示を聞き、全学級が一斉に下校 放課後ルームの児童は、学年毎に教職員がまとめて連れて行く ⑤ 各学級担任は、学級児童が全て教室を出たことを確認して通学路の見回りを実施 ⑥ 見回りを行った教職員は気になることがあった場合、学校に帰着後その状況について教頭に報告 ⑦ 教頭は通学路の状況について集約し、校長に連絡

(2) コース別集団下校

想定場面	(事件発生時) ・児童に危害が及ぶ可能性が比較的低いものの、個別に下校させるには安全確保の面で不安がある場合。 (災害発生時) ・今後、台風や大雨、大雪等が強まると予想され速やかに児童を下校させることが必要だが、個別に下校させるには安全確保の面で不安がある場合。
実施手順	事前 ① 通学路調査（下校方面を赤・青・黄・ピンクの4コースに分ける） ② 各児童の下校方面を担当が把握 ③ 学年毎に児童の下校方面（コース）を一覧にまとめる ※ルームの児童はルーム毎に名簿作成を依頼

実施時	<p>① コース別集団下校を実施する旨を、学校メールで保護者に連絡（教頭） ※未登録家庭には、担任が電話連絡を行う。</p> <p>② 放課後ルーム、船っ子教室へ連絡（教務）</p> <p>③ 各学級でコース別児童名簿を基に、各児童のコースを確認 コース別に分かれて待機</p> <p>④ 放送による指示で運動場に移動 ※集合場所は図1参照</p> <p>⑤ 各コース担当者は、名簿により児童が確実に集合しているかを確認 各コース責任者は、児童が集合したことを教頭に報告</p> <p>⑥ 教頭は5コースとルームの報告を集約し校長に報告 校長の指示により各コース別に下校開始 ※2学年毎にまとめり高学年が低学年の下校を補助 1, 6年 → 2, 4年 → 3, 5年 の順に下校</p> <p>⑦ 教職員は列の先頭、真ん中、最後尾につき下校指導 ※教職員は携帯電話を持参し、連絡が取れるようにしておく</p> <p>⑧ 各コース担当者は学校に帰着後、通学路の状況について教頭に連絡</p> <p>⑨ 教頭は通学路の状況について集約し、校長に連絡</p>
-----	--

図1（集合場所の目安）



(3) 保護者引き渡し

想定場面	<p>(事件発生時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内及び学区近隣で事件が発生し犯人が逃走等をしている状況で、下校の安全が十分に確保できないと考えられる場合。 <p>(災害発生時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風や大雨、大雪等の影響で通学路の安全が確保できない場合。 ・震度5以上の大地震が発生した場合。
実施手順	<p>事前</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 児童調査票を配付・回収し、各児童の引き取り人を確認 ② 「災害時引き取り人名簿」を学級毎に作成
	<p>実施時</p> <p>【教室での引き渡しが可能な場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校での引き渡しを実施する旨を、学校メールで保護者に連絡（教頭） ② 放課後ルーム、船っ子教室へ連絡（教務） ③ 児童は荷物をまとめ、自教室で待機 ④ 引き渡し名簿で確認しながら各教室で引き渡し <ul style="list-style-type: none"> ※引き取り人は廊下で待機、担任が直接引き渡す ※低学年は、学年で1番はじめに引き渡しが完了した学級の担任が、放課後ルームへ行く児童を学年でまとめ連れて行く。 ⑤ 各学級引き渡しが完了したら学年主任に報告 <ul style="list-style-type: none"> 学年主任は教頭へ報告 ⑥ 全児童の引き渡しを確認後、教頭は校長へ報告 <p>【教室での引き渡しが不可能な場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校での引き渡しを実施する旨を、学校メールで保護者に連絡（教頭） ② 放課後ルーム、船っ子教室へ連絡（教務） ③ 児童は荷物をまとめ、学級毎に校庭へ整列して移動 <ul style="list-style-type: none"> ※大地震等で校庭へ避難していて、教室へ戻るができない場合はその場で待機 ④ フリー部の教職員は引き渡し場の場作りを行う ※図2参照 <ul style="list-style-type: none"> その後、学年の表示札を持ち保護者に引き渡し場所を示す ⑤ 各学級毎に引き渡し名簿で確認しながら引き渡し <ul style="list-style-type: none"> ※引き取り人は1人ずつ前に出て、担任が直接引き渡す それ以外の保護者は待機線で待つ ※低学年は、学年で1番はじめに引き渡しが完了した学級の担任が、放課後ルームへ行く児童を学年でまとめ連れて行く。 ⑥ 各学級引き渡しが完了したら学年主任に報告 ⑦ 学年主任は教頭へ報告 ⑧ 全児童の引き渡しを確認後、教頭は校長へ報告

図2

防球ネット

【保護者】

2年 4年 3年 5年 1年 6年
 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1

保護者待機ライン

本部（養護）

2年 4年 3年 5年 1年 6年
 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1

【児童】

校舎

保護者は、ラインより防球ネット側で児童の学級の前に一列になって待つ。担任は児童をラインまで誘導し、順番に引き渡す。

3 役割分担

(1) 一斉下校

- ・各コースマップを参考に見回りを行う
- ・必要に応じて、コース外の見回りも分担して行う

1コース 本中山1・2丁目（黒門方面）【ピンクコース】

() () () (3人)

2コース 本中山1. 2丁目（西部公民館方面）【ピンク・黄コース】

() () (2人)

3コース 本中山1. 2丁目（稲荷神社方面）【黄コース】

() () () (3人)

4コース 本中山3丁目方面【学校周辺】

() () () (3人)

5コース 本中山4丁目方面【青コース】

() () () (3人)

6コース 本中山5丁目方面【青コース】

() () () (3人)

7コース 本中山6丁目方面〈長距離〉【青コース】

() () () (3人)

8コース 本中山7丁目方面〈長距離〉【青コース】

() () () (3人)

9コース 二子町方面（南部）〈長距離〉【赤コース】

() () () (3人)

10コース 二子町方面（ルネ）〈長距離〉【赤コース】

() () () (3人)

※生徒指導の合同パトロールと同じ分担で行う。

(2) コース別集団下校

○対策本部 … 校長, 教頭, 教務

○校内対応 … フリー部

□…各コースのリーダー

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
緑コース (放課後ルーム)						
ピンクコース (下総中山)						
黄色コース (東中山方面)						
赤コース (二子町方面)						
青コース (本中山4・5丁目)						
青コース (本中山6・7丁目)						

5 緊急時下校システム実施フローチャート

